

キイロスズメバチ
(ハチ目スズメバチ科)

本州・四国・九州に分布する一般的なスズメバチです。名前の通り、全体的に黄色が目立ちます。攻撃性が非常に強いです。

これが、キイロスズメバチの体だ！

頭

複眼の内側は暗色です。大顎^{あご}でエサを食いちぎったり、近づいてきた敵に向かってカチカチと威嚇^{いかく}音を出したりします。



針

針をもつのはメスだけです。毒液がある限り何度でも刺してきます。毒液を放出したり、毒液のなかの警報フェロモンで仲間を呼びよせたりします。



腹

他のスズメバチに比べ、黄色い部分が多いです。また、全体に毛が生えているのも特徴です。



キイロスズメバチの一年

木の枝、屋根裏、軒先などに巣をつくります。巣の大きさは、直径 50 cm を超えるものもあり、大きな巣となります。女王蜂は、5 月ごろから巣づくりや産卵をはじめ、9-10 月に集団は最大となります。10 月ごろになると、新女王たちが羽化しはじめ、やがて巣の外で交尾をし、倒木や朽木のなかで越冬に入ります。旧女王蜂や働き蜂、オス蜂はその年の冬までに死んでしまいます。冬になり、空っぽになった巣は、再び利用されることはありません。

刺されないために…

- ① 巣に近づかない。
 - ② スズメバチが自分のまわりを飛びまわって威嚇しているときは、その場を静かに離れる。
 - ③ 自分の近くに飛んできて、手で払わない。
- ※スズメバチが刺す理由は、自身や巣を守るためです。むやみに刺してくるものではありません。